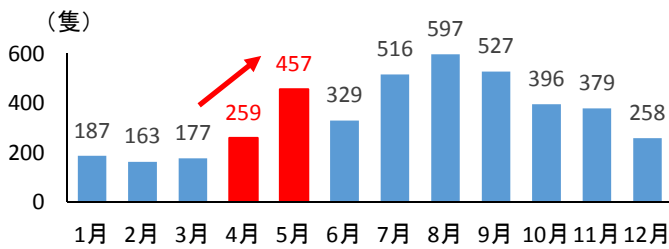


春季のプレジャーボート海難の傾向と対策

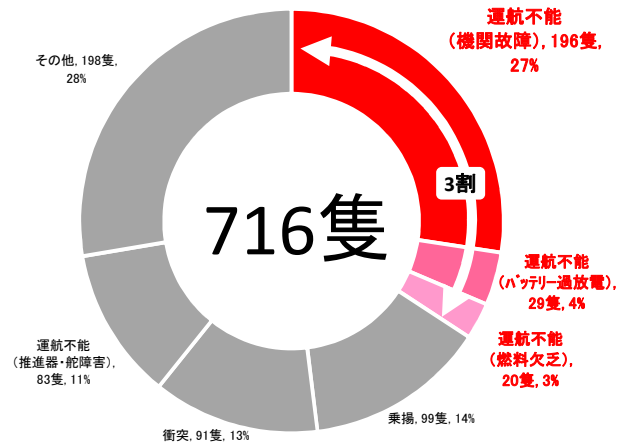
春季（4-5月）のプレジャーボート海難発生状況（H26-30）

例年、**春季にプレジャーボートの海難が増加**します。**発航前の検査**で防止できる可能性のある**機関故障・燃料欠乏・バッテリー過放電**を原因とした船舶海難は3割以上を占めています。**発航前検査**を確実に実施しましょう！

【月別発生状況】（無動力船を除く）



【船舶海難種類別発生状況】（無動力船を除く）



発航前検査チェックリスト

船体の検査

- ① 船体に亀裂や破口はないですか。
- ② エンジンルーム船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



エンジンの検査

- ③ 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- ④ 燃料コック（バルブ）は開いていますか。燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ⑤ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- ⑥ 冷却清水の量は十分ですか。
- ⑦ バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



救命設備等その他の検査

- ⑧ ライフジャケットを着用しましたか。
- ⑨ 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- ⑩ 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



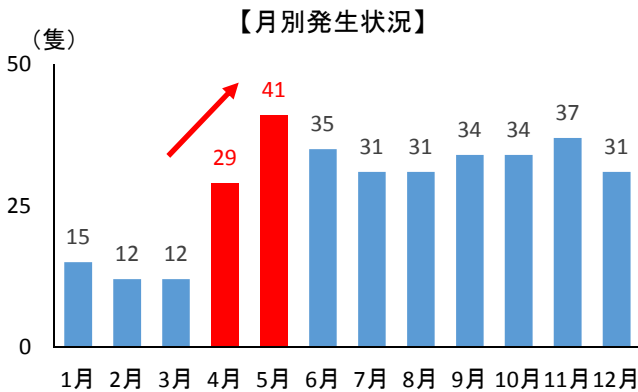
エンジンの状態確認（エンジン始動後の検査）

- ⑪ 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- ⑫ 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- ⑬ エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。

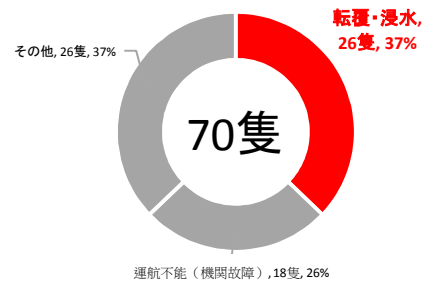


春季（4-5月）のミニボート海難発生状況（H26-30）

ミニボートの海難も**春季**に増加します。波の影響や、バランスに対する不注意による**転覆・浸水**が約4割を占めています。



【船舶海難種類別発生状況】



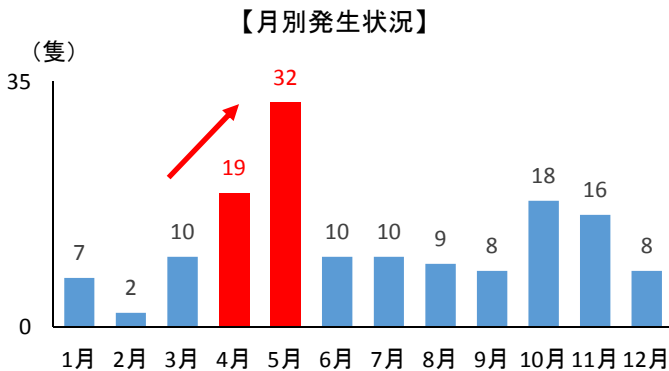
ミニボートとは

船体の長さが3m未満であり、かつ、推進器の出力が1.5kw（2.039馬力）未満である船舶をミニボートとしています。

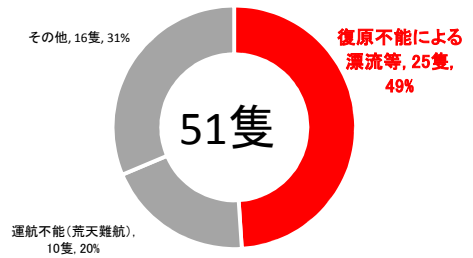


春季（4-5月）のカヌー海難発生状況（H26-30）

カヌーの海難も**春季**に増加します。主に**技能不足**を原因とした**復原不能**による**漂流等**が約5割を占めています。



【船舶海難種類別発生状況】



カヌーとは

パドルと呼ばれる櫂で漕ぐ舟のことで、競技用、レクリエーション用などで、様々な種類があります。

シーカヤック



シットオントップカヤック



出航前は、ここを**チェック！！**

Water Safety Guide

海上保安庁



ミニボート・カヌーの船舶海難を防止するため、統一的な安全情報の提供や、情報の入手しやすさの向上を目指し、推奨される**装備品**や**知識**、過去の事故情報等を掲載しています。

海の安全情報



全国各地の灯台などで観測した**気象情報**、**海上工事等の情報**や、海上模様が把握できる**ライブカメラ**映像をリアルタイムに提供しています。スマートフォン用サイトでは、様々な情報が地図画面上で確認できます。